



音の出し方

両手で歌口の両側を持って、音を出す練習をします。
息の7割は笛の中に3割は逃がすように吹きます。
できるだけ長く音を続けるようにします。

ほほを締めて「細く」「強く」吹きます。
「より細く」「より強く」吹くと、1オクターブ上の音が出ます。

孔を開放する場合は、指を高く上げます。
低いと音程がずれます。

テクニック

くぎり しの笛ではタンギングをしません。
従って、連続した同じ音を区切る場合、一瞬他の音を出す操作をします。
例えば、ドードーと鳴らす場合。ドーレドーと鳴らします。
なお、くぎりは上の音を出す場合も下の音を出す場合もあります。
メロデーによって、やり易い方でやります。

打つ ひとつの音を鳴らすのに2回孔を塞ぎます。
例えば、ミーレード - をミミーレードドーと吹きます。
横笛らしいピーヒャララーという音になります。
飾りを入れるとも言います。

押し 音が出る寸前に、一瞬ひとつ上の音を出すようなつもりで吹きます。
ドーと鳴らすところを、レドーと鳴らすような感じです。
音を、強調したい時に使います。

かざし指 少し隙間を開け、中間の音を出します。
ドーレーと鳴らすところを、ド #レーと鳴らします。
半音を出す時は指を横にずらしますが、
それとは違い、指を上向きにして隙間を開けます。

メリ 少し低めの音
顎を引き気味にし、歌口を狭くして吹きます。

カリ 少し高めの音
顎を突き出すようにして、歌口を広くして吹きます。